

Japanese A: literature – Higher level – Paper 2
Japonais A : littérature – Niveau supérieur – Épreuve 2
Japonés A: literatura – Nivel superior – Prueba 2

Wednesday 15 November 2017 (morning)
Mercredi 15 novembre 2017 (matin)
Miércoles 15 de noviembre de 2017 (mañana)

2 hours / 2 heures / 2 horas

Instructions to candidates

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the part 3 works you have studied and compare and contrast these works in response to the question. Answers which are not based on a discussion of at least two part 3 works will not score high marks.
- You are not permitted to bring copies of the works you have studied into the examination room.
- The maximum mark for this examination paper is **[25 marks]**.

Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Traitez un seul sujet de composition. En basant votre réponse sur au moins deux des œuvres de la troisième partie que vous avez étudiées, vous devez comparer et opposer ces œuvres dans le cadre du sujet. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la troisième partie n'obtiendront pas une note élevée.
- Vous n'êtes pas autorisé(e) à apporter des exemplaires des œuvres que vous avez étudiées dans la salle d'examen.
- Le nombre maximum de points pour cette épreuve d'examen est de **[25 points]**.

Instrucciones para los alumnos

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Conteste una sola pregunta de redacción. Base su respuesta en al menos dos de las obras estudiadas de la parte 3, comparándolas y contrastándolas en relación con la pregunta. Las respuestas que no se basen en al menos dos obras de la parte 3 no recibirán una puntuación alta.
- No está permitido traer copias de las obras estudiadas a la sala de examen.
- La puntuación máxima para esta prueba de examen es **[25 puntos]**.

次の問題から**1つ**を選んで、小論文を書きなさい。その際、「パート3：ジャンル別学習」で学んだ、**少なくとも2作品**に言及しなさい。パート3の2作品を使用していない場合は減点となります。なお、小論文を書くにあたっては、必ず作品の類似点と相違点を**比較・対比**すること。

物語・小説

1. 小説の手法として、特定のステレオタイプ（固定観念）を象徴するような人物を登場させることがよくあります。少なくとも2つの作品を比較・対比しながら、このような手法がどのように用いられ、またそれがどのような効果をもたらしているか論じなさい。
2. 少なくとも2つの作品を比較・対比しながら、小説の設定や場所がどのように描かれているか、その効果も含め論じなさい。
3. 「すばらしい小説は、読者の興味を保つために驚くような展開でいっぱいだ」。少なくとも2つの作品を比較・対比し、これがどのように行われ、またどのような効果をあげているか論じなさい。

随筆・評論

4. 「随筆や評論には、論理的で納得できる結末が必要だ」。この意見の妥当性について、少なくとも2つの作品を比較・対比しながら論じ、作品の結末が読者に与える影響を考察しなさい。
5. 随筆や評論の作者は、読者の思考を促すためにどのような工夫をしているか、少なくとも2つの作品を比較・対比しながら論じなさい。
6. 「随筆や評論は、自己観察と社会への関心を公にしたものだ」という見方があります。作者はどのような目的でこのような側面を公にするのか、またそのためにどのような手法を用いるのか、少なくとも2つの作品を比較・対比しながら論じなさい。

詩歌

7. 詩人はごく一般的なものを、独自のシンボルとして用いることがあります。これがどのように行われているか、少なくとも2人の詩人による作品を比較・対比しながら論じなさい。
8. 詩は何世紀にもわたり、愛を表現する手段として使われています。少なくとも2人の詩人による作品を比較・対比しながら、どのような技法を用いて、このような強い感情を伝えているのか論じなさい。
9. 詩の中には、人物や物または場所を緻密に観察し、目に見えるように描いているものがあります。少なくとも2人の詩人による作品を比較・対比しながら、詩人がどのように臨場感のある描写をしているか論じなさい。

戯曲

10. 劇作家はどのような手法を用いて登場人物にリアリティー（現実味）を持たせるのか、少なくとも2つの作品を比較・対比しながら論じなさい。
 11. 「戯曲においてヒーローや悪役は常に中心にいる」。少なくとも2つの作品を比較・対比しながら、ヒーローまたは悪役（あるいはその両方）が劇中でどのように形成されるのか、また彼らの存在がどのような意味で重要なのか論じなさい。
 12. 多くの戯曲は政治や哲学、または道徳に関する見解を反映しています。劇作家はどのように自分の見解を明らかにしているか、少なくとも2つの作品を比較・対比しながら論じなさい。
-